

福岡県立福岡工業高等学校

福岡県立福岡工業高等学校

学校関係者評価委員会

委員長 大久保 善範 印

委員 下村 輝夫 印

寒竹 賢義 印

柴尾 欽也 印

令和元年度 学校関係者評価書

学校関係者評価委員会の評価結果を次のとおり報告します。

学校運営方針		学校運営計画 (4月)		評価		自己評価に対する学校関係者評価委員会の評価			
昨年度の成果と課題		本年度重点目標		具体的目標		項目ごとの評価			
<p>文政西運を校是とし、厳練とほめて人格を陶冶し、自得心と豊かな心を持った科学技術創造立国日本の次世代を担う創造的・実践的な技術者の育成。</p> <p>選しさとしなやかさを兼ね備え、心身ともに健やかな生徒を育成する。【質実剛健】</p> <p>規範意識や倫理観、人情意識を身に付け、社会に貢献する「志」を持った生徒を育成する。【自律】</p> <p>主体的な思考力や豊かな創造力を身に付け、何事にも果敢に挑戦する生徒を育成する。【創造】</p> <p>評価手法と授業改善の一体的な研究を推進し、「主体的・対話的で深い学び」を実現する。</p> <p>「福工サテスタラン」を充実・発展させ、自尊感情や自己肯定感を高めるキャリア教育を推進する。</p> <p>全教育活動を通して、「時を守り、場を清め、礼を正す」指導を組織的に推進する。</p> <p>効果的な職員研修の充実を図る。</p> <p>学校評価の実施とその結果の公表・説明により、適切に説明責任を果たすとともに、教育活動の積極的な改善に努める。</p> <p>学校ホームページ等を活用して、教育活動の積極的な情報発信に努める。</p> <p>P.T.Aや工友会との適切な連携を図るとともに、中学校への積極的な広報活動に努める。</p>		<p>文武両道を校是とし、厳練とほめて人格を陶冶し、自得心と豊かな心を持った科学技術創造立国日本の次世代を担う創造的・実践的な技術者の育成。</p> <p>選しさとしなやかさを兼ね備え、心身ともに健やかな生徒を育成する。【質実剛健】</p> <p>規範意識や倫理観、人情意識を身に付け、社会に貢献する「志」を持った生徒を育成する。【自律】</p> <p>主体的な思考力や豊かな創造力を身に付け、何事にも果敢に挑戦する生徒を育成する。【創造】</p> <p>評価手法と授業改善の一体的な研究を推進し、「主体的・対話的で深い学び」を実現する。</p> <p>「福工サテスタラン」を充実・発展させ、自尊感情や自己肯定感を高めるキャリア教育を推進する。</p> <p>全教育活動を通して、「時を守り、場を清め、礼を正す」指導を組織的に推進する。</p> <p>効果的な職員研修の充実を図る。</p> <p>学校評価の実施とその結果の公表・説明により、適切に説明責任を果たすとともに、教育活動の積極的な改善に努める。</p> <p>学校ホームページ等を活用して、教育活動の積極的な情報発信に努める。</p> <p>P.T.Aや工友会との適切な連携を図るとともに、中学校への積極的な広報活動に努める。</p>		<p>具体的目標</p> <p>チャイム・トウ・チャイムを徹底し、規律のある授業を実施する。</p> <p>教室や実習棟の整備、教具や工具等の整理整頓に努め、学習環境を整える。</p> <p>学習活動において挨拶や返事等の礼儀を重視し、学ぶ者としての謙虚な姿勢が培えるよう指導する。</p> <p>生徒が授業で主体的・対話的な活動をするため、多くの事例を実践し授業改善を行う。</p> <p>教育課程委員会と連携し、新学習指導要領に即した指導と評価の方法を研究する。</p> <p>研修室と連携し職員研修の充実を図る。ICTを用いた効果的な授業を推進する。</p> <p>身だしなみ検査や朝の挨拶運動をとおして、基本的な生活習慣を身につけさせる。</p> <p>授業や特別活動での道徳教育により、人を思いやる心や隠れ合う気持ち等を育てる。</p> <p>警察による交通安全教室等により安全意識や交通マナーを身につけさせる。</p> <p>学務会議や学年会議を定期的に開催し、全教職員で生徒の情報交換を行い、普段からの声かけや面談をとおして問題行動の早期発見・未然防止に努める。</p> <p>配慮を要する生徒には家庭や医療機関等と組織的・継続的な指導に努める</p> <p>保健部やいじめ防止委員会、特別支援教育推進委員会やS.Cとの円滑な連携を行い、生徒が心身ともに健康で安心した学校生活を送れる環境づくりを行う。</p> <p>きめ細やかな連絡相談と生徒の特性を活かした励み指導に努める。更に、応募前職場見学を推進することで、就職内定率100%と一歩の採用内定率95%以上を目指す。</p> <p>進路ガイダンス、インターンシップ、進路講座、進路学年集会などを通じて生徒一人ひとりの自尊感情・自己肯定感を高め、学校生活全体と社会との繋がりを考えさせるとともに進路意識の高揚を図る。</p> <p>公務員希望者に対しては、志望動機を明確にさせるとともに学年と連携を取り、継続的な課外や課外プログラムを実施し、一人ひとりの学習状況を把握する。更に、きめ細やかな対応・指導を行うことで合格率の向上を図る。</p> <p>進路ガイダンスや説明会を充実させ、生徒の進路意識を向上させる。</p> <p>個人面談を定期的に行い、個に応じた進路実現を目指す。情報を教員間で共有し、生徒に適切な進路選択をさせる。進路課外を充実させ大学等の入学試験を突破できるようにする。また、進学後の学習に対応できる学力を身につけさせる。</p> <p>委員会活動を計画的に支援し、活発で自主的な活動を目指す。</p> <p>部活動加入率85%を目指し、ミスマッチ入門を減らす。</p> <p>生徒会執行部やリーダーを計画的に育成し、活躍の場を増やす。</p>		<p>具体的目標</p> <p>チャイム・トウ・チャイムを徹底し、規律のある授業を実施する。</p> <p>教室や実習棟の整備、教具や工具等の整理整頓に努め、学習環境を整える。</p> <p>学習活動において挨拶や返事等の礼儀を重視し、学ぶ者としての謙虚な姿勢が培えるよう指導する。</p> <p>生徒が授業で主体的・対話的な活動をするため、多くの事例を実践し授業改善を行う。</p> <p>教育課程委員会と連携し、新学習指導要領に即した指導と評価の方法を研究する。</p> <p>研修室と連携し職員研修の充実を図る。ICTを用いた効果的な授業を推進する。</p> <p>身だしなみ検査や朝の挨拶運動をとおして、基本的な生活習慣を身につけさせる。</p> <p>授業や特別活動での道徳教育により、人を思いやる心や隠れ合う気持ちを育てる。</p> <p>警察による交通安全教室等により安全意識や交通マナーを身につけさせる。</p> <p>学務会議や学年会議を定期的に開催し、全教職員で生徒の情報交換を行い、普段からの声かけや面談をとおして問題行動の早期発見・未然防止に努める。</p> <p>配慮を要する生徒には家庭や医療機関等と組織的・継続的な指導に努める</p> <p>保健部やいじめ防止委員会、特別支援教育推進委員会やS.Cとの円滑な連携を行い、生徒が心身ともに健康で安心した学校生活を送れる環境づくりを行う。</p> <p>きめ細やかな連絡相談と生徒の特性を活かした励み指導に努める。更に、応募前職場見学を推進することで、就職内定率100%と一歩の採用内定率95%以上を目指す。</p> <p>進路ガイダンス、インターンシップ、進路講座、進路学年集会などを通じて生徒一人ひとりの自尊感情・自己肯定感を高め、学校生活全体と社会との繋がりを考えさせるとともに進路意識の高揚を図る。</p> <p>公務員希望者に対しては、志望動機を明確にさせるとともに学年と連携を取り、継続的な課外や課外プログラムを実施し、一人ひとりの学習状況を把握する。更に、きめ細やかな対応・指導を行うことで合格率の向上を図る。</p> <p>進路ガイダンスや説明会を充実させ、生徒の進路意識を向上させる。</p> <p>個人面談を定期的に行い、個に応じた進路実現を目指す。情報を教員間で共有し、生徒に適切な進路選択をさせる。進路課外を充実させ大学等の入学試験を突破できるようにする。また、進学後の学習に対応できる学力を身につけさせる。</p> <p>委員会活動を計画的に支援し、活発で自主的な活動を目指す。</p> <p>部活動加入率85%を目指し、ミスマッチ入門を減らす。</p> <p>生徒会執行部やリーダーを計画的に育成し、活躍の場を増やす。</p>		<p>自己評価(総合)</p> <p>自己評価は</p> <p>A 適切である</p> <p>B 概ね適切である</p> <p>C やや不適切である</p> <p>D 不適切である</p>	
<p>教科研指導</p> <p>安心して学習に取り組める規律のとれた学びの場の確立を推進する。</p> <p>教科指導力と授業技術の向上を図る。</p>	B	<p>教職員の学科・教科と学年の縦横の連携を一層強化し、多様化する生徒の問題行動等に対して、全教職員が迅速かつ適切な対応ができるような教職員の指導力向上を目指す。また、必要に応じて組織を再構築し、生徒の状況に応じた生徒指導を行う。</p>	B	<p>教職員の学科・教科と学年の縦横の連携を一層強化し、多様化する生徒の問題行動等に対して、全教職員が迅速かつ適切な対応ができるような教職員の指導力向上を目指す。また、必要に応じて組織を再構築し、生徒の状況に応じた生徒指導を行う。</p>	B	<p>〇生徒の挨拶がきちんとして行われている。</p>			
<p>生徒指導</p> <p>規範意識の育成と倫理観の向上を目指す。</p> <p>生徒が安全・安心して学べる環境を作る。</p>	B	<p>進路ガイダンスや連絡講座などを通じて生徒一人ひとりの肯定感・自尊感情が高まり、進路意識の高揚を図ることができた。次年度も生徒の希望進路実現に向けて継続して取り組んで行く。また、本校のキャリア教育とキャリアパスポートの関連性を明確にし、教職員の共通認識のもと、生徒の希望進路実現に向けた進路指導の内容充実を図る。</p> <p>進路指導においては、進学する目的の明確化、それに伴う学習意欲、態度ならびに探求心の向上を図る。また、上級学校進学後、専門性を活かした分野でのリーダーとしての存在感となるための主体性と学力ならびに自学力・学習習慣の定着を目指し指導の充実を図る。</p>	B	<p>進路ガイダンスや連絡講座などを通じて生徒一人ひとりの肯定感・自尊感情が高まり、進路意識の高揚を図ることができた。次年度も生徒の希望進路実現に向けて継続して取り組んで行く。また、本校のキャリア教育とキャリアパスポートの関連性を明確にし、教職員の共通認識のもと、生徒の希望進路実現に向けた進路指導の内容充実を図る。</p> <p>進路指導においては、進学する目的の明確化、それに伴う学習意欲、態度ならびに探求心の向上を図る。また、上級学校進学後、専門性を活かした分野でのリーダーとしての存在感となるための主体性と学力ならびに自学力・学習習慣の定着を目指し指導の充実を図る。</p>	B	<p>〇生徒の活発さや明るさが目立っています。</p>			
<p>進路指導</p> <p>各学年の進路目標に応じた諸活動により、生徒の自尊感情・自己肯定感を高めさせ、将来の社会人・職業人としての職業を身につけさせる。</p> <p>進学への目的意識を明確にさせ、計画的・組織的に進路指導を進めると同時に、学力を身につけることとで自信に満ちた学校生活を送らせ自尊感情・自己肯定感を高めさせる。</p>	B	<p>各学年の進路目標に応じた諸活動により、生徒の自尊感情・自己肯定感を高めさせ、将来の社会人・職業人としての職業を身につけさせる。</p> <p>進学への目的意識を明確にさせ、計画的・組織的に進路指導を進めると同時に、学力を身につけることとで自信に満ちた学校生活を送らせ自尊感情・自己肯定感を高めさせる。</p>	A	<p>進路ガイダンスや連絡講座などを通じて生徒一人ひとりの肯定感・自尊感情が高まり、進路意識の高揚を図ることができた。次年度も生徒の希望進路実現に向けて継続して取り組んで行く。また、本校のキャリア教育とキャリアパスポートの関連性を明確にし、教職員の共通認識のもと、生徒の希望進路実現に向けた進路指導の内容充実を図る。</p> <p>進路指導においては、進学する目的の明確化、それに伴う学習意欲、態度ならびに探求心の向上を図る。また、上級学校進学後、専門性を活かした分野でのリーダーとしての存在感となるための主体性と学力ならびに自学力・学習習慣の定着を目指し指導の充実を図る。</p>	A	<p>〇就職率が毎年100%になっていることは素晴らしいことです。</p>			
<p>特別活動・部活動</p> <p>学校行事に生徒が積極的に参加し、成功・感動体験によって愛校心を持たせる。</p>	B	<p>学校行事に生徒が積極的に参加し、成功・感動体験によって愛校心を持たせる。</p>	B	<p>学校行事に生徒を中心に、学校行事を行うことができた。次年度は、行事の準備を早目に行い、より教育効果が期待できる企画運営を行う。部活動加入率は85%を超えた。次年度は90%を超えるような魅力ある部活動を推進する。</p>	B	<p>〇運動部、文化部問わず充実した学生生活を送れるように、より多くの生徒が部活動に参加することを望みます。</p> <p>〇体育、文化系共に活発に行われている。</p>			

健康・安全指導 環境整備	健康への意識を向上させるため、健康診断の結果を随時連絡し、個別の保健指導を充実させる。 全教職員に危機管理マニュアルを周知し、エビデン等緊急時の対応や事後措置等、生徒の安全確保に努める。 校内外の清掃を徹底し、HRボランティア・部活動との連携を図り、地域に愛されるきれいな学校をつくる。 委員会活動の活性化を図り、保健だよりの作成や清掃点検を行うなど、生徒の自己肯定感の向上を目指す指導を行う。	A A B A	A A A	心の健康相談の実施といじめ防止委員会等の連携を取り、教職員の共通理解を図ることができた。 エビデンの使用法や緊急時対応マニュアルの周知理解を図ることができた。 秋季外箱の落ち葉対策を見直し校内美化を改善することなどができた。次年度はこれらの活動を更に充実させる。	A	○清掃等が活発に行われている。
家庭と地域との 連携・広報活動	本校教育活動の広報対象を中学校の保護者や教員に加えて中学生や塾に拡大し、本校紹介を積極的に行う。 学校ホームページや学校案内、玄関ディスプレイなどをとおして、本校の教育活動をわかりやすく紹介する。 P.T.A.活動を通じて保護者と学校との連携を深め、より効果的な教育活動が行えるようにする。	A A A	A A A	中学校教員・生徒や塾に本校紹介を積極的に行う。中学校P.T.A.や生徒の本校訪問を積極的に受け入れ本校の良さを知ってもらおう。P.T.A.活動を通して保護者との協力体制を確立する。	A	・特記事項なし
研究・研修	研究授業や公開授業、また研究協議を通して、授業改善が行われるように効果的な研修計画を立てる。 先進校の訪問による情報収集や外部講師による授業改善のための評価手法に関する研修を実施する。 外部講師や情報教育スキルのある教職員によるICT機器の活用を推進する研修を行う。	A A B	A A A	全国工業高等学校校長協会の研究指定を受けて専門学科の実習を中心に評価方法に関する研究等を行った。次年度は、更に普通教科や専門学科の座学を中心に授業改善を軸とした研修を行っていく。	A	○課外活動が活発である。
教育情報	各教科・学科・コースにICT推進委員を新設し、利用の促進を行っていく。 研修部と連携を行い、ICT機器に関する研修会を実施し、電子黒板等の稼働率を向上させる。 県教育センターや専門中学校での研修に教職員が参加し、生徒の情報活用能力を向上させる指導ができるようにする。	B B B	B B B	ICT推進委員を新設することはできなかつたが、特別教室に電子黒板を移動させて稼働率を向上させた。次年度は、新教務システムの導入に向けて学務部や研修部と連携を強化していく。	B	○教育活動が活発である。
学校図書館	図書館蔵書の拡充、施設整備、及び視聴覚室機器の整備整備を進め、有効利用と利用時のマナー向上を図る。 図書館報「書窓」「図書館便り」や「BookNav」(新刊案内)等の発行を通して図書館の広報活動の推進に努める。 図書委員を中心に朝読書、新ブックマインレーキジャンベンや読書週間等を実施し、読書習慣の定着・活性化を図る。	A A B	A A A	本年度は図書等の整理・整頓が進み、当面の目標である、静かな環境で使い勝手のよい、機能的な図書館に近づきつつある。また、図書館便りを発行し、生徒の人格・成長の助成の一助とした。	A	○図書館便りはよくできている。
人権・同和教育	全ての教育活動を通じて、差別や人権侵害を許さない態度や行動をとれるように、生徒の人権尊重の精神の育成を図る。 福工の一生涯としての自尊と誇りを持たせ、自他と協力を進め、3年後に社会で貢献できる人材としての基礎を身につけさせる。	A B B	A B B	特設授業の生徒アンケートによれば、多くの生徒が人権教育に強い関心を示している。将来社会人として十分に通用する人権感覚を特設授業のみならず、学校教育全般を通じて一層涵養していく。	B	・特記事項なし
1 学年	福工の一生涯としての自尊と誇りを持たせ、自他と協力を進め、3年後に社会で貢献できる人材としての基礎を身につけさせる。 福工の一生涯としての自尊と誇りを持たせ、自他と協力を進め、3年後に社会で貢献できる人材としての基礎を身につけさせる。	A B A	A B A	大層者が少なかつたことを次年度も継続させる。学習面においては、課題が多く、次年度は生徒の情報共有も含めて各学科や分掌、教科との連携を図り、学習面や生活面においてのサポートを強化する。	A	・特記事項なし
2 学年	伝統ある福工生としての自尊と誇りをもたせ、様々な行事を企画し、個々の意欲を高め、生活の志事を図る。先取を軸とできる精神力と「学びむけに向かう力」を養い、伸び続ける社会人となる基礎を築く。	B A A	B A A	学校行事等では協力し合い励まし合ったりする姿が見られた。保護者と教員の連携が機能した働きかけがトラブル解決に繋がっている。自発的活動が少なくなることが課題であり、3年次は進路決定も意識して主体的活動を促したい。	A	・特記事項なし
3 学年	自身の適性に合った進路の選択とその実現に向けて必要な能力・素養の修得に自ら積極的に取り組むことのできる個人の育成を図る。また、各科目・各教科を中心とした、学校各課の力強い善後役として自覚を持つて機能する集団の育成を図る。	A B A A	A A A A	生徒指導上の問題等もなく、おおむね良好に学校生活を送ることができている。2学期後半からの学校の教育活動や再検討し、最後まで全ての生徒が進路実現や目標設定に向けた活動が行えるようになり、必要がある。	A	・特記事項なし
染織デザイン科	社会人として通用する基本的な生活習慣の確立、基礎的な学力の向上及びキャリア教育の推進を図ると共に授業や資格取得を通して学習方法を取得させ学習意欲の向上を充実させる。	B B B B	B B B B	行事の運営は生徒主体で実施できているが、一部の生徒に任せすぎることが多く、全体で取り組むように指導していく。教員と生徒の対話が足りない結果、進路指導では一次内定率が80%と例年になく低水準となった。次年度は、計画的な取り組みを学料を兼ねて取り組む。また、資格取得については更にレベルアップを目指すため、指導計画を見直す。	A	○工友会のTシャツを制作してもらったが、出来ばえがよかつた。
建築科	建築の知識・技術を通して、社会の発展と文化の創造に貢献できる有為な人材を育成する。 学校のホームページ等を活用して、建築の仕事のやり甲斐や魅力を発信する。	B A A B	B A A B	2級建築施工管理技士試験(学科)等の資格試験の合格率を更に伸ばしていく。 資格取得等に積極的に取り組ませることで、学習意欲の向上やより高い進路希望への実現に繋げる。	A	○ものづくりが活発である。

機械工学科	工業技術や資格取得、また、ものづくりを通して社会に貢献する意識と自らが進路を決定していく態度を身につけた生徒を育成し、就職内定率100%を早期に達成する。	時間厳守、言葉遣い、整理整頓、挨拶等、社会人として必要な基礎・基本を指導する。 資格取得の目的を明確にし、自己のスキルアップのための資格取得に積極的に取り組ませる。 授業担当者間で十分な連携を図り、教員の専門性を高めるとともに、学力を向上させる。 インターンシップ等を利用して進路に対する意識向上を図り、生徒自らが進路を決定していく態度を育成する。	A B B B	B B	挨拶や時間厳守など社会人としての基本となった指導は十分にできた。今後は進路目標達成に向けた指導体制の充実を図る。 資格取得については、レベルの高い試験に合格者も出ているが、合格率は不十分な結果に終わっている。次年度は補習内容の見直しを行う。	B	○野球カウターの製作などのもので、多くの教育活動が活発である。
工業進学コース	理工系大学に進学する上で必要な基礎学力の習得と学習習慣の定着を図る。また、ものづくりに必要な技術・技能を習得させる。	進路を考えさせる機会を定期的に設け、学習意欲の向上と明確な進路目標決定に努める。 少人数制の授業の特性を生かして、きめ細かな指導を行うことで理解度を増させ、希望進路の実現を目指す。 ものづくりに関する技術や資格の重要性を認識させ、工業人のリーダーとして、さらに研究者としての志を育成する。 生徒の研究開発への進路意識を高めさせ、国立大学・高専への進学率が前年度比1割増しとなることを目指す。	B A B A	A A	今年、国立大学へ6名、高専へ3名合格することができた。次年度も生徒に明確な進路目標を定めさせるように早い時期よりHR活動はもとより授業の中で、生徒各自の将来像を描かせる活動を行う。また、進路先のミスマッチがない様に一人ひとりの面談を増やし、確実な進路指導を行う。	A	○進学率もよく頑張っていると思われる。
情報工学科	基本的な生活習慣や自己学習力、課題解決力を身につける教育活動を充実させ、ものづくりや競技会に精進をもつて取り組み、情報化社会で活躍する生徒を育成する。	自ら身だしなみを整え、人の話を素直に聞くことができるように指導をする。 情報処理技術者試験の傾向分析と効果的な指導で、合格者を昨年より10%増やす。 PC甲子園やIT選手権などの情報に関する競技会に積極的に参加させ、全国大会出場を目指す。 情報技術の進展に対応した実習教材の開発やICTの活用により、学習意欲を高める指導をする。 授業改善を積極的に進め、情報環境を整備することで、生徒の学習意欲を喚起する。	B A B A	A A	基本情報技術者試験に3名、ITパスポート試験に20名、情報セキュリティマネジメント試験に1名が合格した。次年度は、更に課題傾向を分析し、指導の充実を図る。また、学習意欲を高めるために先端技術に触れる機会をつくる。	A	○ITや資格取得等の専門的学習活動が活発である。
環境化学科	化学技術者として必要な知識や技術を身につけさせるとともに、環境問題に関心を持ち自ら課題を見つけて解決できる人材を育成する。	廃棄物の処理・運搬、連絡・相談の指導を徹底し、社会人としての能力の育成を図る。 実習中の安全指導を徹底するとともに、自ら考えて課題を解決し行動できる力を育成する。 公害防止管理者など、様々な資格取得に意欲的に挑戦するように指導する。	B B B B	B B	時代のニーズに対応できる人材育成に向けて、実習内容の見直しを行う。また、生徒の学習意欲向上のため、体験入学等の学校説明や実習説明を生徒主体で行わせる。そして、各学年所属教員が資格取得指導ができるように指導方法を見直す。	B	○国際周年表作成などの専門教育活動が活発である。
電気工学科	生徒が電気技術者として社会に貢献できるように自立心と誇り並びに自己の目標を持つよう日々の学習活動を充実させる。また、何事にも積極的に取り組むことが出来る向上心をもつ生徒を育成する。	授業改善を行い電気技術者として必要な基礎学力の定着を図る。 生徒の意識を高め、第二種電気工事士の合格率が9割以上となることを目指す。 ものづくりをとおして、調査研究や考えることの重要性に気づかせることにも、創造力や表現力を身に付けさせる。 実習室の整理整頓に努めると共にKY法を用いた安全教育を推進する。	B A B B	B B	基礎学力の定着を図るため、授業内容及び実習内容の改善を行っていく。 次年度も本年同様合格者が9割以上となるよう指導内容を工夫しながら補習等を行っていく。 創造力や表現力を身に付けさせるために指導方法の改善を図り、授業で実践していく。	B	○課題研究の取組が活発である。
都市工学科	土木技術者として、社会やコミュニケーション能力の養育できる生徒の育成を目指す。誇りを持ち何事にも積極的に挑戦する人材を育成する。	学ぶ環境を整え、時間厳守や身だしなみ等、基本的な生活習慣を確立させ、社会に貢献できる生徒の育成に当たる。 基礎学力の向上を目指し、聞く力、話す力、考える力の育成を図ると共に、自ら判断し行動できる力を育成する。 あらゆる機会を活用し、進路意識を高揚させ、早期進路決定100%の実現を目指す。 教職員指導力向上を図り、授業や資格取得で結果を出す。更に、ものづくりコンテスト県大会の二連覇を目指す。	A B A B	A A	基礎学力の向上を図るため、学科内で授業、実習の内容を改善するとともに、聞く・話す・考える力の指導を強化していく。 ものづくりコンテスト九州大会出場、測量士補・2級土木施工管理技術(学科)の合格者数の増加を目標に、教科指導や生徒指導に全力で取り組む。	A	○ドローンの研究など専門教育が活発に行われている。
電子工学科	電子技術者としての専門力を身につけさせるとともに、基本的な生活習慣の定着を図り、逞しく健康であるための体力や臨機応変なコミュニケーション力の育成を図る。	基礎・基本の指導にともない時間やレポート期限の厳守、身だしなみ、挨拶励行、整理整頓を徹底させる。 創造性を育む知財教育を行い、パテントコンテストに1年生80%以上の応募を目指す。 特殊無線技士の合格率80%以上、工事担任者30名以上の合格を目指す。 授業、学校行事、課題研究等の様々な場面で率先してリードできる態度を養う。	B A A B	A A	基本的な生活習慣の定着を図るため、毎日のHRの時間は、学年所属の教員が全員教室に入り指導する。 各実習室の環境の点検・整備を常にを行い、安全・安心に作業できるようにする。また、実習内容を電気電子の製作、コンピュータ通信など教科書に準じた項目に再編する。	A	○案内ロボットはすばらしいと思います。

自己評価及び学校関係者評価委員会の評価をもとにまとめた改善策(項目を設定して、簡潔書きで記入すること。)

<p>※安全指導：自転車や歩きながらのスマホ操作などの公共における安全指導の徹底</p> <p>※地域との連携：ボランティア活動等による地域貢献</p>		<p>○全体的に挨拶がよく、活発である。</p>
--	--	--------------------------

※この欄は学校関係者評価委員会で記入しないこと。

評価項目以外のものに関する意見